



荷姿 1セット (10枚入)  
1枚あたりのサイズ  
だて よこ 厚さ  
0.4m×0.4m×3mm

初回納入時に付属しています。



これでくろすけを  
切ると便利です。



アスファルト製品  
「くろすけ」の  
性状測定結果



	測定結果	試験方法
針入度 (25°C) 1/10mm	37	JIS K 2207
軟化点 °C	84.5	JIS K 2207
P. I	4.1	JIS K 2207
伸度 (15°C) cm	2.5	JIS K 2207
密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>	1.176	JIS K 2207
フーラス脆化点 °C	-24	JIS K 2207
引火点 °C	304	JIS K 2265

### くろすけ施工に使用する骨材

- 7号砕石 (5mmトップ) ※使用用途 くろすけの強度を上げる
  - 6号砕石 (13mm~5mm) ※使用用途 大きめのポットホールに使用
  - 砂 ※使用用途 くろすけのマスキング (流れ出し防止)
- 7号砕石、砂は当社でも袋詰で販売しています。  
荷姿 15kg袋詰



ライフダクトカンパニー株式会社

代理店

〒243-0211 神奈川県厚木市三田32番地1

TEL. 046 (224) 6980

FAX. 046 (221) 8538

早い!  
簡単!  
便利!

アスファルトシート  
くろすけ



ライフダクトカンパニー株式会社

## クラック・目地の補修と簡易防草処理



草や泥、ごみを取り除きます。

適量の大きさにカットし加熱します。溶解したくろすけがクラックの奥まで浸透していきます。

充填中クラックが深くくろすけが足り無くなってしまったら

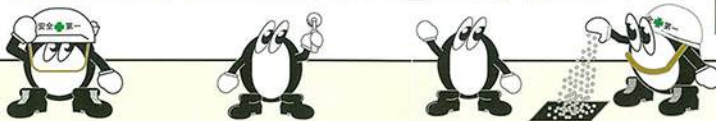
適量のくろすけをカットし溝の上に乗せます

加熱するとくろすけが溶け出し再充填され一体化します。

水の浸入を防ぎます。また日光を遮断し、光合成を抑制する事で簡易防草処理も可能です。



## ポットホールの修繕



1. ガスバーナーや簡易ガスバーナー等による**直接加熱方式**なので従来の溶解釜等による面倒な作業が一切不要です。
2. シート形状で即溶解可能なので**特殊な技術**が不要です。また作業時間及び経費（人件費、外注費等）の削減が可能です。
3. クラック内部に浸透するので一般の防水シート方式より**確実な防水**が可能です。
4. 夏場の**フラッシュ現象**が無くまた**切削作業**時に支障がありません。

## 主な使用用途

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. クラック・目地のシール    | 5. 簡易防草として     |
| 2. 段差修正・振動解消      | 6. ポットホール補修    |
| 3. オーバーレイ前のクラック処理 | 7. グレーチングの振動緩和 |
| 4. 防水層として         | その他あらゆる補修・防水箇所 |

マンホール周り



大きめのポットホール



大きめのクラック



## くろすけ表面処理（パッチング）及び段差修正 施工方法

- ① 施工面を軽く清掃します。  
※目地等に詰まった泥やごみを取り除きましょう。 乳剤は水分を含んでいます。よく乾燥させましょう。  
\*施工面が濡れているときは完全に乾燥して下さい。  
\*施工面にホコリが多いときは薄く乳剤を塗布し、完全に乾かしてください。
- ② くろすけをビザカッターで必要な形に切ってください。  
\*手でも簡単にちぎれます。
- ③ 施工面に置いたくろすけのふちに砂で土手を作ってください。  
\*加熱・溶解したくろすけの流れ出し防止の働きをします。
- ④ くろすけを加熱しながら骨材を散布します。  
\*加熱し液体化したくろすけの上に骨材を均等にまき、骨材とくろすけを一体化させます。  
\*骨材は一般の7号砕石や砂を使用し、粒度の大きい方から散布してください。  
砂は砕石の隙間を埋める仕上げ等に使用してください。  
砕石・砂については、当社にて袋詰でも提供しています。  
注) 火の上からの骨材散布は避けてください。骨材ははねて危険です。
- ⑤ 再度、表面を加熱します。  
\*骨材の浸透が不完全な箇所を再度加熱してくろすけと骨材を一体化させます。  
\*骨材が不足している箇所は再度、散布してください。
- ⑥ 自然冷却し、余分な骨材を掃き取って完了です。  
\*ほうきで軽く掃いてみて、変形をしなれば骨材を掃き取って大丈夫です。尚、掃き取り後に水で強制冷却も可能です。  
\*すりつけ部についてはタンパー等でつぶしてください。施工後の自然転圧でも所所に既設の路面となじめます。

## クラックの表面処理

